製品保証書

品 名	i-Smart	シリアルNo.	
お買上げ年月日		年　月　日	
保証期間		1　年　間	

お客様　〒

ご住所 _____

電　話 _____

お名前 _____ 様

販売店

店　名

住　所

電　話

本保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店または、当社に修理をお申し付け下さい。

この保証書は本書に明示した期間、下記条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社までお問い合わせ下さい。

無料修理規定

1. 取り扱い説明書などの注意書などに従った正常な使用状態で故障した場合には、当社にて無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げ販売店または、当社に製品と本保証書を一緒にしてお申し付け下さい。
3. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
   - ①本保証書のご提示がない場合。
   - ②本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、および本書の字句が書き替えられた場合。
   - ③ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損。
   - ④お買上げ後の輸送、落下などによる故障および破損。
   - ⑤地震、落雷、水害その他の天変地異、事故や異常電圧による故障および破損。
4. 本保証書は、再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

POWER ENTERPRISE Co.,Ltd.

パワーエンタープライズ株式会社

〒417-0047　静岡県富士市青島町43

TEL.0545-52-0123　FAX.0545-52-0103

POWER ENTERPRISE Co.,Ltd.

i-Smart

取扱説明書

はじめに

この度は､｢i-Smart｣をお買い上げいただきまして､誠にありがとうございます。
この取扱説明書には､i-Smart本体の機能､配線方法､操作方法､および使用上の注意について記載してあります。
i-Smartの機能を十分にご理解いただき､安全かつ効果的にご利用いただくために､ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みになり正しい使用法で使用してください。
取付け後も本取扱説明書および車種別配線図を大切に保管してください。
なお､i-Smartは競技専用部品です｡公道では道路交通法等の法規に従って使用してください。
また､本製品は精密機械ですのでお取扱いには十分ご注意ください。
商品の外観､仕様､価格等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

◇はじめに ・・・

機能と特徴

プッシュ・エンジンスタート機能

ＯＦＦから、アクセサリ→イグニッションＯＮ→エンジン始動→エンジン停止(ＯＦＦ)までをボタン１つの操作で可能にします。
またブレーキ(またはクラッチ)を踏みながらボタンを押せば、すぐにエンジン始動ができます。
ボタンを短く押してもエンジンが始動するまでセルモータを回します。
アクセサリやエンジン作動中などの状態は、メインボタンの色および『ACC』『ON』のLEDでお知らせします。

アイドルストップ機能

車両が停止すると、約７秒後にエンジンを自動的に停止させます。
不要なアイドリングをなくすことで燃費が向上します。
ブレーキを離せばすぐにエンジンが再始動、またブレーキを踏んだ状態でエンジンをかけたい時のために、手動でのエンジン再始動も可能です。
アイドリングストップ中にバッテリ電圧が不足レベルにまで下がったら、自動的にエンジンを始動する安心機能も搭載しています。

危険

始動中に急発進する恐れがあるため、この機能はマニュアルトランスミッション車では使用しないでください。

マイセキュリティ機能

i-Smartの操作をするために、車に乗り込んで最初にセキュリティの解除をします。
セキュリティの解除コードは『ツー、トン、トン、ツー』など、メインのボタンの短押しと長押しを４個まで組合わせたモールスタイプで、オーナー自身が任意で設定できます。
一度設定したセキュリティは再設定しない限り、バッテリーのマイナス端子を外すなどしても記憶されます。
セキュリティは作動させないようにすることもできます。

エンジン・オフタイマ機能

車から離れても、適切な時間、クールダウンしてからエンジンを停止します。
水温をモニタリングして自動的にアフターアイドル時間を決めるオートモードの他に、10秒・30秒・60秒の各マニュアルモードと、ＯＦＦ(すぐにエンジンを停止)が選択できます。
アフターアイドル中はオフタイマボタンの色が変化することで残り時間をお知らせします。

注意

車種によっては、オフタイマ作動中はリモコンでのドアロックができないことがあります。そのような車種でオフタイマ作動中に車から離れるときは、キーでドアロックしてください。

ブレーキ/クラッチ・キャンセル機能

ブレーキ(クラッチ)を踏みながらでないとエンジンが始動できないシステムを解除し、ワンプッシュでのエンジンスタートを可能にします。

危険

マニュアルトランスミッション車ではギヤを入れたままエンジンを始動すると車が急発進するなどの危険があります。
必ず、ギヤがニュートラルになっていることを確認してから始動してください。

リモコン・エンジンスタート機能

車外の離れた場所からリモコンのＯＮボタンでエンジン始動、ＯＦＦボタンでエンジンを停止できます。
リモコンでエンジン始動後、キーを挿さずに(または挿してもＡＣＣの位置にしないで)車が動き出したときにはエンジンがすぐに停止する安全機能を搭載しています。

危険

マニュアルトランスミッション車では、エンジン始動のときにギヤが入っていると無人で急発進する恐れがありますので、取付け・使用をしないでください。

安全機能

万が一、使用中に車速信号が断線しても検出し、走行中にアイドルストップが作動してエンジンが停止するということはありません。

オフタイマ作動中は、車が動くとすぐにエンジンが自動停止するため、不意に運転してしまったときなどのハンドルロックによる事故を防ぎます。

安全にご使用いただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人の財産や身体への損害を未然に防ぎ、本製品を安全かつ効果的にご使用いただくために守っていただきたい事項をマークと共に記載しています。
必ずこの取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
本書中で使用されているマークと、その意味は下記のようになっています。

危険　財産や身体に重大な被害が発生する恐れがあるもの。

注意　車両や製品の破損および故障等を引き起こす恐れがあるもの。

重要　本製品を使用するにあたって必ず知っておいていただきたいこと。

一般注意事項

注意

本製品の分解や改造は絶対にしないでください。本体の故障や破損の原因となります。お客様が分解や改造を行った場合、保証期間内であっても無償修理を行えなくなります。

製品保証書(本取扱説明書裏表紙)は販売店および指定事項をご記入の上、大切に保管してください。また、修理の際には保証書を必ず添付してください。記入もれや販売店の記入がない時は有償となる場合がございます。

製品に強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。取付け時等の落下にご注意ください。

本製品に故障または異常があった場合は、ただちに使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。

本製品を使用しての事故や車両故障、破損、違法行為等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。

本製品を取付けた車両を他の人に貸出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も必ず渡してください。

配線・取付け方法

取付け時の注意事項

危険

適合車種以外の車両に取付けないでください。走行に支障が生じるような不具合が生じたり、車両を破損させる可能性があり、危険です。

ハンドルやシフトレバー、ペダル、その他運転の妨げになる所へ本体ユニットや操作ユニットを取付けたり、配線を取り回すことはおやめください。事故の原因となり大変危険です。

本体ユニットや操作ユニットを湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、熱のこもる場所、ヒーターの吹き出し口の近く等に設置しないでください。本体の変色、変形、製品の誤作動、故障や破損の原因となります。

配線作業を行う際には、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外してください。
配線のショートによるi-Smartの破損、車両の破損や火災の恐れがあり、大変危険です。

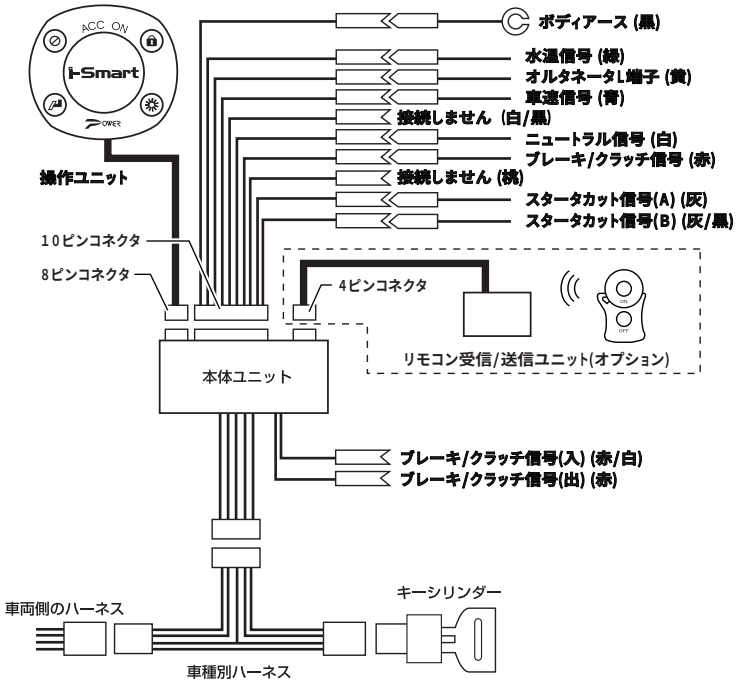
注意

本製品の取付けには、必ず専用の車種別ハーネスを使用してください。

取付けは専門店にて行ってください。誤った配線を行うと車両火災等の重大なトラブルの原因となります。
エンジンルーム等の、水の影響を受けやすい場所への配線を行う場合には、接続部分に絶縁処理、防水処理を必ず行ってください。

コネクタを抜き差しする場合は、コネクタ本体を掴んで作業して下さい。ハーネスを引張るなどして無理な力を加えると断線する恐れがあります。

取付け概略図

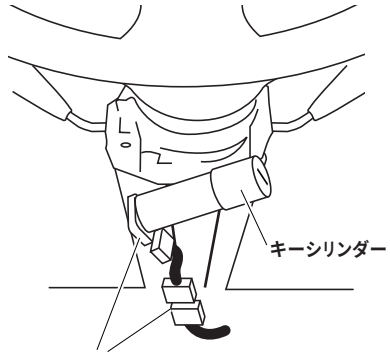


注意

i-Smartを取付けると、エンジン始動のために必ずi-Smartの操作が必要です。
どうしてもキーのみでもエンジンを始動できるようにする必要がある場合には、当社のＷＥＢページに方法を記載していますので、ご覧ください。
ただし、キーでもエンジンを始動できるようにすると、操作によってはセルスタータの破損やバッテリ上がりの恐れがありますので、注意事項をよくご覧になり、ご理解していただいた上でご使用ください。

当社ホームページアドレス:
http://www.power-enterprise.co.jp/
または、検索サイトで「パワーエンタープライズ」と検索してください。

作業手順



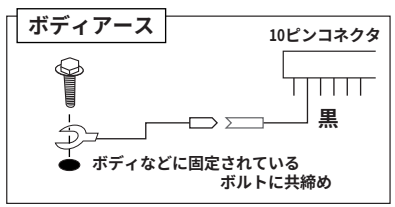
① バッテリーのマイナス端子を外してください。

② ハンドルコラムカバーを取外すなどして、キーシリンダーのコネクタ(左図)を確認してください。

③ 純正のキーシリンダーのコネクタを取外し、i-Smart専用の車種別ハーネス(別売)を接続してください。

コネクタは、車種によって場所が異なり、
キーシリンダーに直付けのタイプとハーネスの途中にあるタイプがあります。

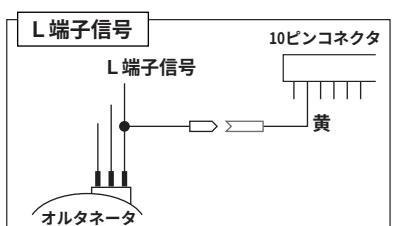
④ 以下の配線は、全車種共通で必ず接続を行なってください。



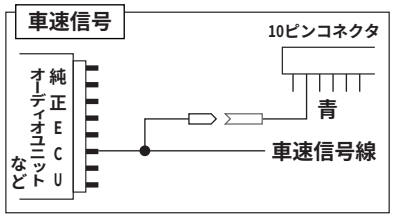
i-Smartを作動させるために必ず必要な基本配線です。
接触不良がないよう、確実に取付けを行ってください。

注意

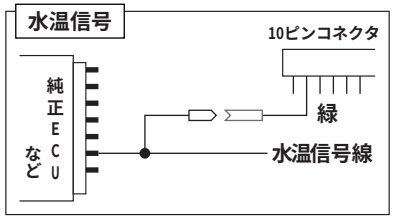
ボディアースの端子は、塗装面などを避けて取付けてください。
ボディアースの接触不良により、i-Smartの動作が不安定になる恐れがあります。



エンジンの始動を検出するために必要な配線です。

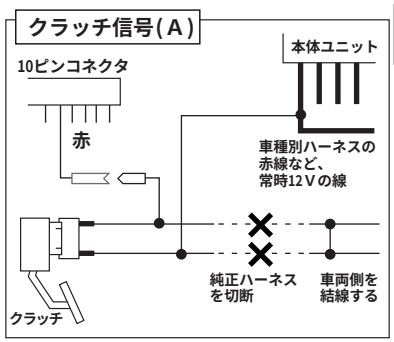


アイドルストップ機能や安全機能を作動させるために必要な配線です。



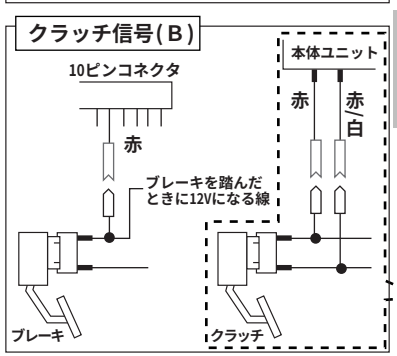
オフタイマー機能の、オートモードで必要な水温信号をi-Smartに入力するための配線です。

⑤ 以下の配線は、ＭＴ車のみ、配線を行なってください。
取り付けを行なう車種や、希望するエンジン始動方法によって、以下の(Ａ)(Ｂ)どちらかの方法で配線してください。



<クラッチを踏みながらプッシュボタンで、エンジンをスタートさせたい>

左図のように配線すると、クラッチを踏みながらプッシュボタンを押すことでエンジンを始動します。

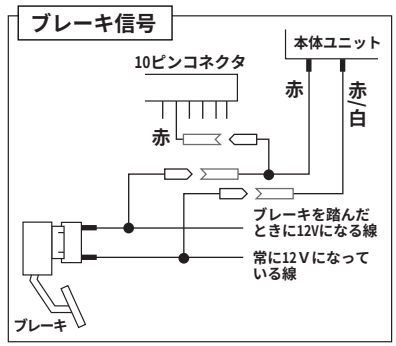


<ブレーキを踏みながらプッシュボタンで、エンジンをスタートさせたい>
または、
<クラッチにスイッチが付いていない>

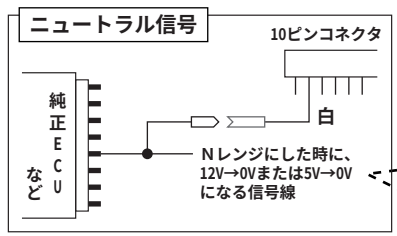
左図のように配線すると、ブレーキを踏みながらプッシュボタンを押すことでエンジンを始動します。

クラッチにスイッチが付いていない車種は、点線枠内の配線は必要ありません。

⑥ 以下の配線は、ＡＴ車(ＣＶＴを含む)のみ、配線を行なってください。



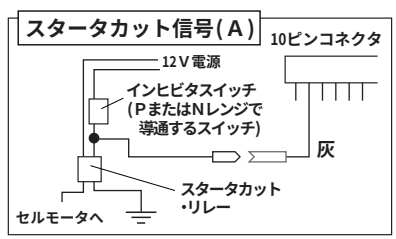
エンジン始動やアイドルストップ機能で必要なブレーキ信号をi-Smartに入力するためと、
純正の、ブレーキを踏まないとエンジンを始動できないシステムをキャンセルするための配線です。



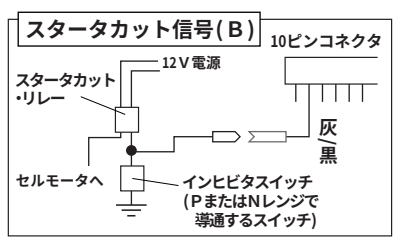
「アイドルストップ状態でＤレンジ→Ｎレンジ→Ｄレンジ(またはリバース)にしたときにエンジンを始動させる機能」に必要な配線です。

ギヤをニュートラルにした時に、０Ｖ→１２Ｖまたは０Ｖ→５Ｖになる車種やニュートラル信号が無い車種は、車種別配線図に記載の取付け方法に従って配線してください。
※別売の信号反転器が必要になることがあります。

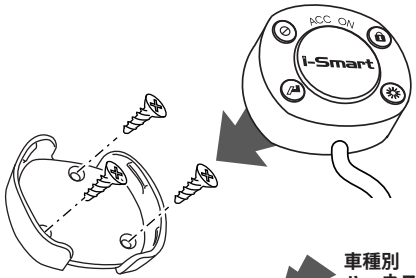
以下のスタータカット信号配線は、アイドルストップ状態でのエンジン始動に必要な配線です。
車種別配線図と下記の説明文をご覧になり、Ａ(灰色線)またはＢ(灰/黒線)で配線してください。
なお、**配線図の「STリレー」の欄に "C "と表示されている車種は、別売のリレーをお買い求めの上、車種別配線図に記載の取付け方法に従って配線してください。**



スタータカット・リレーがインヒビタスイッチの下流に取付けられている車種(**配線図の「STリレー」の欄に "A "と記載されている車種**)は左図のように**灰色線**を配線してください。
※インヒビタスイッチは、ニュートラルスイッチやスタータカットスイッチと呼称されることもあります。

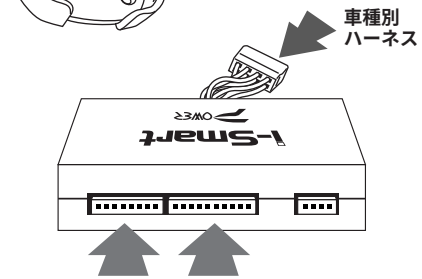


スタータカット・リレーがインヒビタスイッチの上流に取付けられている車種(**配線図の「STリレー」の欄に "B "と記載されている車種**)は左図のように**灰/黒線**を配線してください。



⑦ i-Smartの操作ユニットを、付属のホルダを使って固定してください。

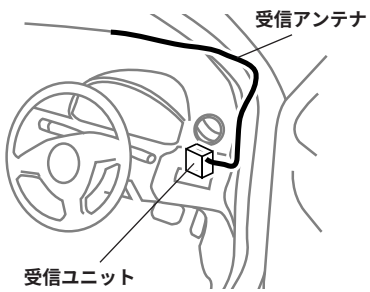
⑧ 車種別ハーネスを本体ユニットに接続してください。



⑨ 操作ユニットのハーネスコネクタ(８ピン)を、本体ユニットに接続してください。

⑩ 10ピンコネクタを本体ユニットに接続してください。

リモコンユニットを取付けない場合は、以上で取付け完了です。
リモコンユニットを取付ける場合は、以下の⑪に進んでください。

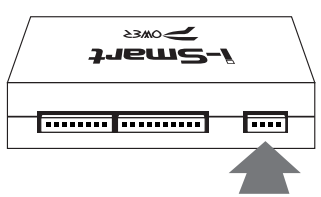


⑪ リモコン受信ユニットをダッシュボードの内側などに固定してください。

⑫ 受信ユニットのアンテナ(白色線)を、左図のようにフロントガラスの辺りまで引き伸ばしてください。

重要

リモコンの反応距離を長くするために、P33の「リモコンの受信感度を上げるには」を参考にしながら、アンテナ線の取り回しを行なってください。

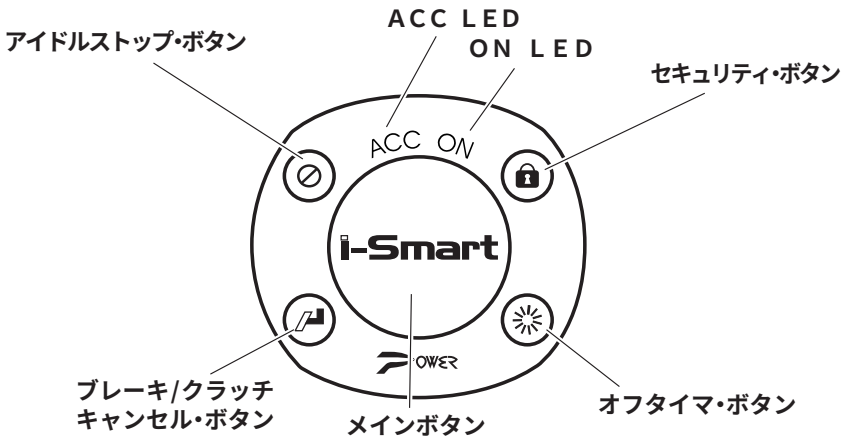


⑬ リモコン受信ユニットのハーネスコネクタ(４ピン)を本体ユニットに接続してください。

以上で取付け完了です。

操作方法

各部名称



操作時の注意事項

危険

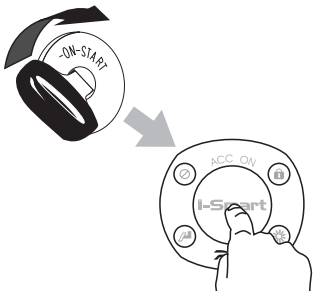
運転者が運転中に本製品の操作を行うときは、脇見運転とならないように十分に注意してください。事故の原因となり大変危険です。

オフタイマやセキュリティを設定するときには、車を安全な場所に停止させてから行なってください。走行中や信号待ちなどでこれらの操作を行なっていると、急な動作に対応できず事故を引き起こす原因となります。

本製品の操作は、機能を十分に理解している方のみが行なってください。それ以外の方が操作しますと、走行中など思わぬときにエンジンが停止するなどして事故を引起こす可能性があり危険です。特にお子様などが操作しないように十分ご注意ください。

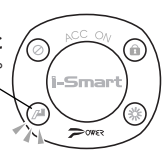
動作確認

取付け後、以下に従って動作確認を行なってください。
何か異常が生じた場合には動作確認を中断し、トラブルシューティング(Ｐ２９～)を参考に、原因を取り除いてから再度動作確認を行なってください。

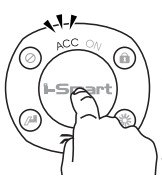


キーをＡＣＣまで回し、ボタンを押す。

(※)このボタンが明るく点灯している場合は、１回押して薄っすらと点灯している状態にしてください。



全体が薄っすらと点灯



ボタンを押すことで、
アクセサリ電源ＯＮ。

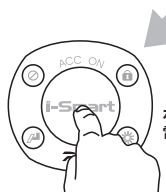
ボタンを押すことで、
イグニッションＯＮ。

① キーを挿し、ＡＣＣの位置(純正であればオーディオなどの電源がＯＮになる位置)まで回してください。

② ブレーキおよびクラッチを踏まずに、メインボタンを１回押して、操作ユニット全体のＬＥＤが薄っすらと点灯することを確認してください。

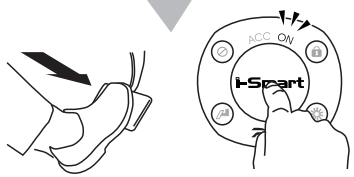
③ i-Smartのブレーキ/クラッチのキャンセル機能がＯＦＦになっていることを確認(左図の※を参照)してから、メインボタンをもう１回押してください。アクセサリ電源がＯＮになります。(オーディオなどの電源がＯＮになり、i-Smartのボタンの上の「ＡＣＣ」が点灯します。)

④ メインボタンをもう一度押して、イグニッションONになることを確認してください。(純正メーターの警告灯類が点灯し、i-Smartのボタン上の「ＡＣＣ」が消灯し、「ＯＮ」が点灯します。)



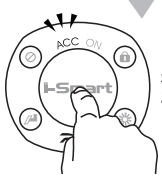
ボタンを押すことで、
電源ＯＦＦ。

⑤ メインボタンをもう一度押し、ＯＦＦ状態になることを確認してください。



ブレーキ/クラッチを踏んだ状態でボタンを押すことで、エンジンスタート。

⑥ 操作ユニットのＬＥＤが薄っすらと点灯している状態で、ブレーキ(またはクラッチ)を踏んだ状態でボタンを押し、エンジンが始動することを確認してください。



ボタンを押すことで、
エンジンストップ。

⑦ メインボタンを押し、エンジンが停止してＡＣＣ状態になることを確認してください。

⑧ キーをＯＦＦにし、i-Smartが消灯することを確認してください。

プッシュスタート機能の操作方法

エンジンストップの方法はＰ１７に記載しています。

危険

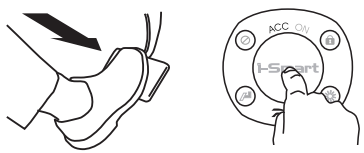
ブレーキ/クラッチキャンセル機能がＯＮになっている時(左下のボタンが緑色に点灯)は、キーがＡＣＣまたはＩＧＮの位置にあるときにメインボタンを押すと、ブレーキを踏んでいなくてもエンジンが始動します。
マニュアル車両は、ギヤがニュートラルになっていることを確認してからエンジンを始動してください。

i-Smartでエンジンを始動するには

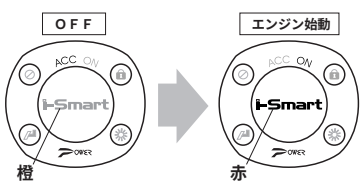
① キーをＡＣＣまたはＩＧＮまで回す。(ＡＴ車はＰレンジにすること。)

ＡＣＣまたはＩＧＮ

② ブレーキ/クラッチを踏んだ状態で、メインボタンを押す。



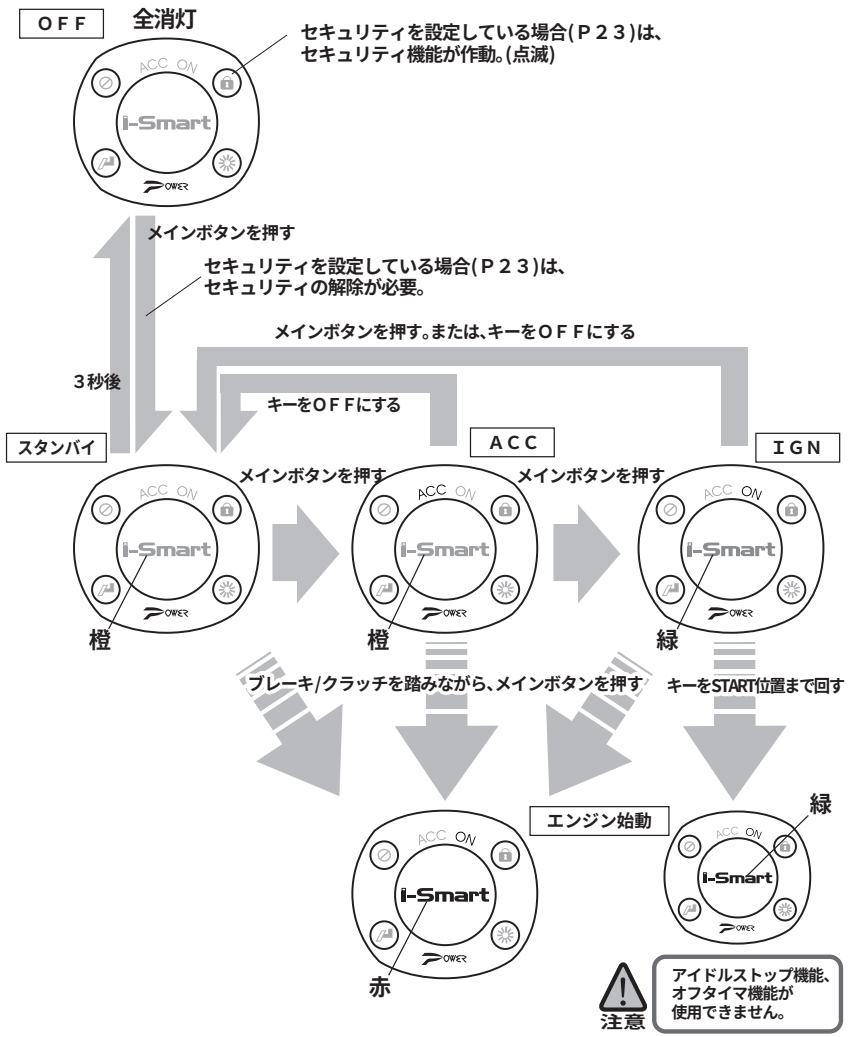
③ セルモータが回ったら(エンジンからキュキュキュキュと音がしたら)、指をボタンから離す。



重要

i-Smartはエンジン始動を検出して、自動的にセルモータを停止します。
エンジン始動前にセルモータが停止してしまう、またはエンジン始動後もセルモータが止まらない、という場合にはトラブルシューティング(Ｐ２９～)を確認してください。

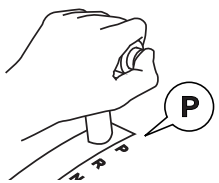
プッシュスタート概略図



プッシュストップ機能の操作方法

i-Smartでエンジンを停止するには

① 車を停車させる。ＡＴ車はＰレンジにする。

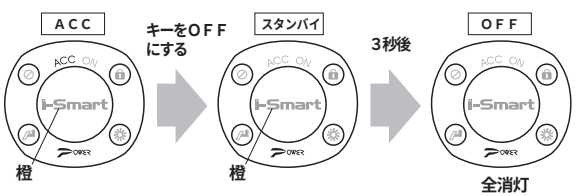


② メインボタンを押し、エンジンを停止させる。

重要

オフタイマを設定している場合、エンジンはすぐには停止しません。

③ キーをＯＦＦにする。

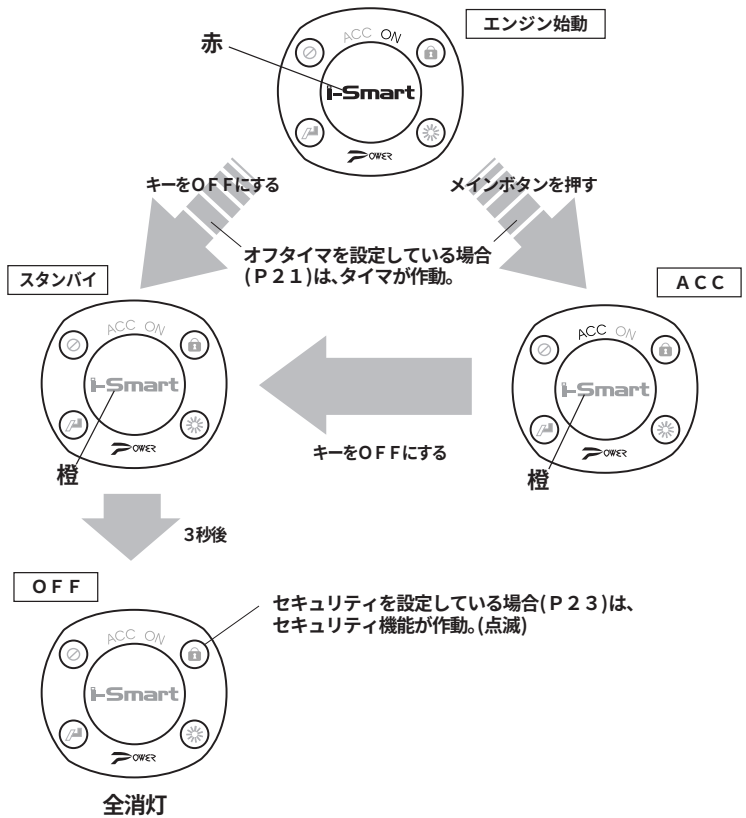


重要

オフタイマ作動中にキーをＯＦＦにしても、タイマは継続して動作します。

②を省略して、エンジン作動中にキーをＯＦＦにすることでもエンジンを停止させられます。

プッシュストップ概略図

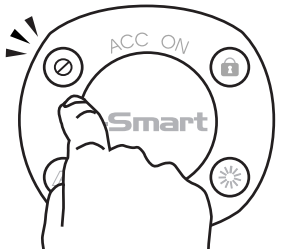


注意

安全のため、走行中にメインボタンを押してもエンジンは停止しません。

ただし、走行中でもメインボタンを約２秒間押し続けると、エンジンを停止させることができます。

アイドルストップ機能の操作方法



アイドルストップ・ボタンを押して青色に点灯させると機能が有効になります。
アイドルストップ機能のＯＮ/ＯＦＦは、エンジンが始動している時にのみ切替えが可能です。
また、機能ＯＮのままエンジンを停止すると、次にエンジンを始動したときは自動的にＯＮになります。

この機能が有効のときは、
・車両が停止
・ブレーキを踏んでいる
状態で約７秒後にエンジンを自動停止します。

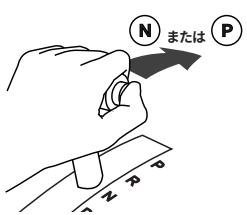
危険

マニュアルトランスミッション車でアイドルストップ機能を使用すると、エンジン始動の際に車が急発進するなどの恐れがあり危険ですので、機能を使用しないでください。

注意

信号線の断線や車両・i-Smartのトラブルなどでアイドルストップからエンジンを始動できないときでも、以下の方法で確実にエンジンを始動できます。 万が一の時に備え、手順を覚えておいてください。

①ギヤをニュートラルまたは
パーキングにする。



②ブレーキを踏みながら、
キーでエンジンを始動させる。
(START位置まで回す。)

重要

一度アイドルストップしてエンジンを始動させたが、その後車が全く動いていない場合には、アイドルストップ機能は作動しません。

アイドルストップによるエンジン停止中は、メインボタンやアイドルストップボタンの操作ができません。

車両によっては、Ｄレンジでのエンジン始動が車両に異常と検出され、レンジのインジケータやチェックランプが点灯することがありますが、走行には影響しません。
また、エンジンをかけなおすことで消灯します。

注意

走行中に車速信号線に断線などの異常が生じると、アイドルストップボタンが点滅し、機能は作動しません。
アイドルストップボタンを押すことで再び機能をＯＮにすることができますが、車速信号の入力が正常にならない限りアイドルストップ機能は作動しません。

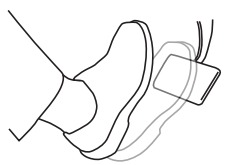
車速信号線の
接続を確認！

点滅して５秒ほどで点灯に戻る場合は、バッテリ電圧の低下が原因です。
下記の「アイドルストップ状態からエンジンを始動させるには」をご覧ください。

アイドルストップ状態からエンジンを始動させるには

A：以下の方法では、エンジンが自動的に始動します。

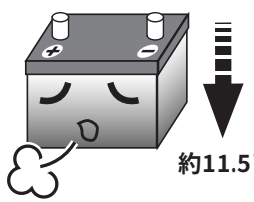
・ブレーキから足を離したとき



・(坂道などで)車が動いたとき

※後ろに動いても始動します。

・バッテリー電圧がおよそ11.5V以下になったとき



約11.5V以下

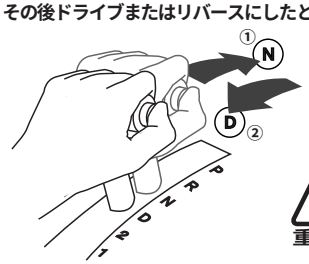
約５秒間、点滅

ＬＥＤが点滅したときは

バッテリーが十分に充電されるまで、アイドルストップ機能をＯＦＦにしてしばらく走行してください。

B：以下の方法で、エンジンを手動で始動させることができます。

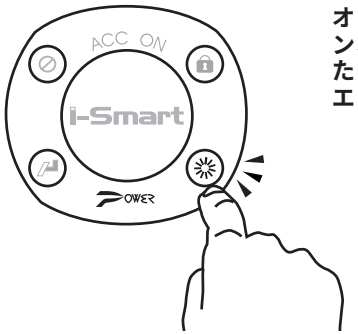
・シフトレバーを一度ニュートラルにし、
その後ドライブまたはリバースにしたとき



重要

動作が速すぎると、認識できません。
およそ２秒以上かけて動作させてください。

オフタイマ機能の操作方法



オフタイマ機能を有効にしていると、メインボタンでエンジンを停止させる操作をした時に、アフターアイドルを行なってからエンジンを停止させることができます。

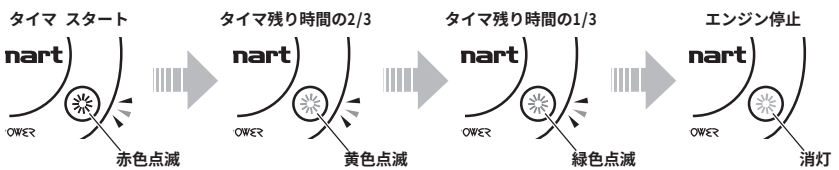
タイマ時間は「10秒」、「30秒」、「60秒」の他に時間を自動算出する「オートモード」、アフターアイドルを全くしない「ＯＦＦ」の５パターンから選択して設定できます。オートモードに設定すると、水温が十分に下がったところで自動的にエンジンを停止するため、必要最低限のアフターアイドルにすることができます。

注意

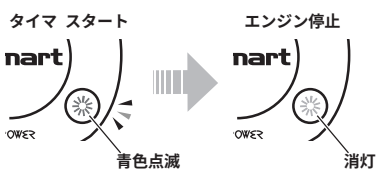
車種によっては、オフタイマ作動中はリモコンでのドアロックができないことがあります。そのような車種でオフタイマ作動中に車から離れるときは、は、キーでドアロックしてください。

オフタイマ作動中は、以下のようにボタンの色が変化します。

10秒、30秒、60秒に設定した場合



オートモードに設定した場合



重要

オートモードを使用していただくためには、先に水温の学習を行なう必要があります。次項(Ｐ２２)に従って、水温の学習を行なってください。

オフタイマ作動中の強制停止とキャンセル

①キーＯＦＦでオフタイマ作動後にメインボタンを押したときはエンジンが強制的に停止します。

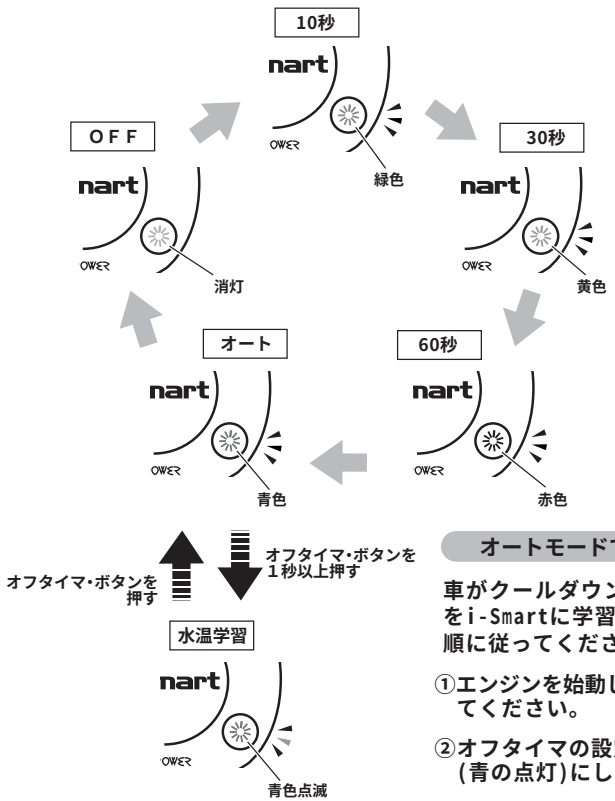
②メインボタンでオフタイマ作動後にメインボタンをもう一度押すと、オフタイマがキャンセルされ、走行できる状態に戻ります。

重要

オフタイマ作動中に車を動かそうとすると、すぐにエンジンが停止します。これは、走行中にエンジンが停止して事故につながることを防ぐための安全機能です。

オフタイマ時間を設定するには

オフタイマ・ボタンを押すたびに、以下のように設定時間が変更できます。
オフタイマ・ボタンの色を確認しながら、お好みの設定にしてください。



オートモードでの水温学習

車がクールダウンされている時の水温をi-Smartに学習させるため、以下の手順に従ってください。

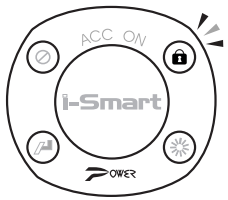
①エンジンを始動し、十分に暖気を行なってください。

②オフタイマの設定をオートモード(青の点灯)にしてください。

③オフタイマ・ボタンを１秒以上押し続けてください。
指を離すと、オフタイマ・ボタンが青色に点滅します。

④オフタイマ・ボタンを１回、押してください。
オフタイマボタンが点滅から点灯に戻り、学習完了です。

マイセキュリティ機能の操作方法



セキュリティを有効にしていると、セキュリティボタンが赤く点滅している時はi-Smartの各種操作ができなくなります。
イグニッションＯＦＦの状態で３秒間、何も操作をしないでいると自動的にセキュリティが作動します。

重要

セキュリティを作動させるためには、先にセキュリティコードの設定を行なう必要があります。
以下に従って、セキュリティコードの設定を行なってください。

セキュリティコードとは

メインボタンの、「短く押す」・「長く押す」の順番と回数を組合わせて設定するモールス式の暗号です。
メインボタンを押してから、0.4秒未満で指を離すと短押し、0.4秒以上で指を離すと長押しとして認識します。

セキュリティコードを設定するには

注意

設定したセキュリティコードを入力する以外に、セキュリティを解除する方法はありません。
設定したコードは忘れないように紙に控えるなどしておいてください。
万が一忘れてしまった場合にはトラブルシューティング(Ｐ２９～)を参照してください。

重要

安全のため、ＩＧＮ/エンジン始動状態ではセキュリティコードの設定はできません。

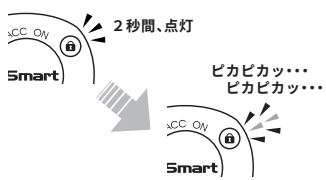
以下の手順でセキュリティコードを設定してください。

①セキュリティボタンを押してください。
セキュリティボタンが点滅します。
(短く点灯・長く消灯、の繰り返し)

②セキュリティボタンが点滅している間(３秒間)に、メインボタンの長押し・短押しを組合せて、任意のセキュリティコードを入力します。

重要

メインボタンを押している間、メインボタンが赤く光ります。

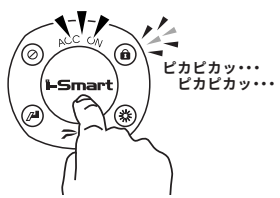


一次入力完了

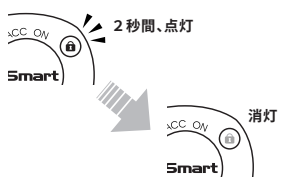
③入力が完了したら、少しお待ちください。
セキュリティボタンが２秒ほど点灯し、再び点滅を始めます。

入力完了　･･･セキュリティ・ボタンが、短く２回点灯・長く消灯、の繰り返しになります。
④に進んでください。

入力エラー･･･セキュリティ・ボタンが、短く１回点灯・長く消灯、の繰り返しになります。
①からやり直してください。



④セキュリティボタンが点滅している状態で、３秒以内に②と同じセキュリティコードを、もう一度入力してください。



入力完了

⑤入力完了後、少しお待ちください。
セキュリティボタンが２秒ほど点灯します。

入力完了　･･･セキュリティ・ボタンが消灯し、設定完了です。

入力エラー･･･セキュリティ・ボタンが、短く１回点灯・長く消灯、の繰り返しになります。
①からやり直してください。

セキュリティを解除するには

ＬＥＤが点灯している３秒以内に、メインボタンでセキュリティコードの入力を行なうことで、セキュリティを解除できます。

<設定されているセキュリティコードの例>

(短押し・短押し・長押しの３個の組合せ)

以下のような入力でも、
セキュリティが解除されます。

ボタンを押すタイミングが、設定時と異なる。

短押しまたは長押しの時間の長さが、設定時と異なる。

以下のような入力では、
セキュリティが解除されません。

最初のボタン入力から３秒以内に入力が完了しない。

押す順番が異なる。

押す回数が異なる。

セキュリティが作動しないようにするには

一度セキュリティを設定したが、乗るたびに解除するのが煩わしいという場合には、以下の手順でセキュリティを作動しないようにしてください。

重要

この操作は、i-Smartがスタンバイ/ＡＣＣ状態のときにのみ、可能です。ＩＧＮ/エンジン始動状態では取消し操作ができません。

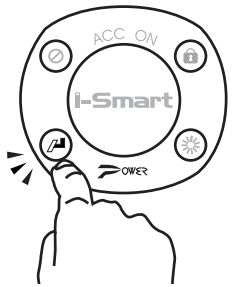
セキュリティが作動しないようにした後で再度セキュリティを作動させるには、コードの設定(Ｐ２３～)をやり直してください。

①セキュリティを解除し、スタンバイまたはＡＣＣ状態にしてください。

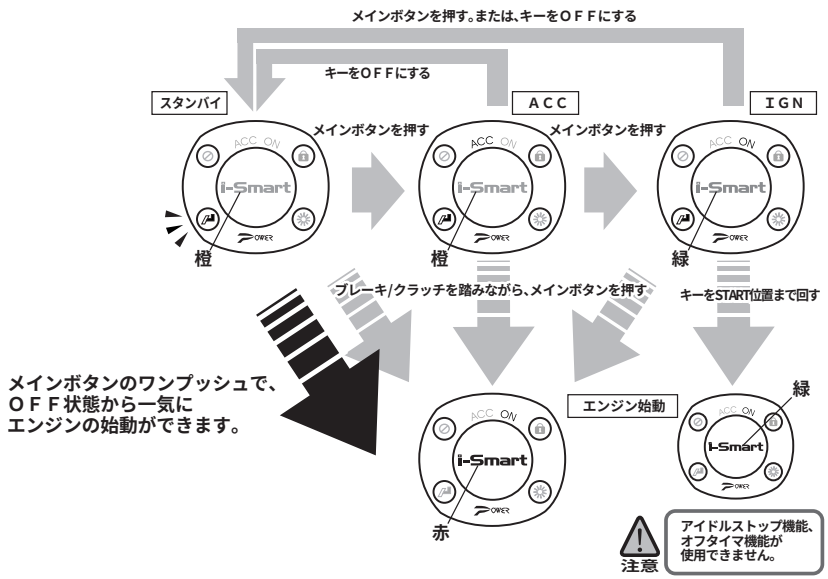
②セキュリティボタンを押し続けてください。(２秒以上)

③ＯＦＦ状態にして３秒ほど待ち、セキュリティが作動しない(セキュリティボタンが赤点滅しない)ことを確認してください。

ブレーキ/クラッチキャンセル機能の操作方法



ブレーキ/クラッチキャンセルボタンを押して緑色に点灯させると機能が有効になります。
純正でブレーキ(クラッチ)を踏まないとエンジンを始動できない車種でも、ワンプッシュでエンジンを始動することができます。



重要

ＡＣＣまたはＩＧＮのときにブレーキ/クラッチのキャンセル機能をＯＮにしたときは、メインボタンを押して一度ＯＦＦ状態にしてください。その後、ブレーキ(クラッチ)を踏まずにエンジンが始動できます。

純正でブレーキ(クラッチ)を踏まないとエンジンが始動できない車種でも、この機能をＯＮにしなくてもリモコンでのエンジン始動が可能です。

リモコン・スタート機能の操作方法

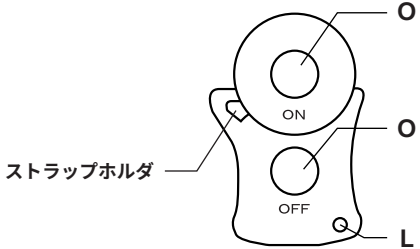
危険

マニュアルトランスミッション車でリモコンスタート機能を使用すると、エンジン始動の際に車が急発進するなどの恐れがあり危険ですので、機能を使用しないでください。

重要

リモコンでのエンジン始動には、別売のリモコンユニット(送信ユニット・受信ユニット)の取付けが必要です。

リモコンの各部名称と機能



ONボタン
エンジンを始動します。
すでに始動している時に押しても、
何も起こりません。

OFFボタン
エンジンを停止します。
停止している時に押しても、
何も起こりません。

LED
ONボタンを押している間、点灯します。

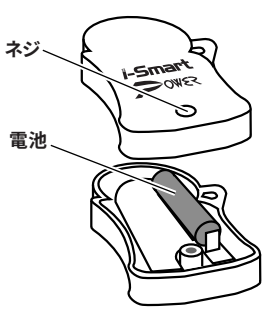
重要

LEDは、ONボタンを押したことをお知らせするための装置です。
エンジンが無事に始動したことをお知らせする機能はありません。

リモコンの電池を交換するには

重要

リモコン送信ユニットの電池は、使用頻度にもよりますが1～2年の寿命です。
リモコンの感度が悪くなった(エンジンがかかりにくいなど)と感じたら、以下の手順でリモコンの電池を交換してみてください。



交換電池:12Vアルカリ乾電池27A

① リモコン裏側のネジ1個を取外してください。

② リモコンを裏向きにしたまま、裏側ケースをゆっくりと持ち上げてください。

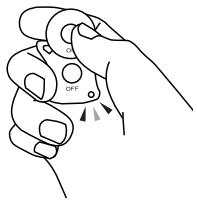
③ 消耗した電池を新品に交換してください。

④ 裏側ケースを元通り取付け、ネジで固定してください。

重要

リモコンの反応距離は最大およそ10mです。(障害物などがあると短くなります。)
反応が悪いときなどは、P33の「リモコンの受信感度を上げるには」を参考に、受信ユニットのアンテナ線の取り回しを変えてみてください。

リモコンでのエンジン始動と走行まで



リモコンのONボタンでエンジン始動

① リモコンのONボタンを押してください。

ACCまたはIGN

② エンジンが始動していることを確認して車両に乗り込んだら、キーをACCまたはIGNまで回してから、走行を開始してください。

重要

②のキー操作を行なわずに車を動かそうとすると、すぐにエンジンが停止します。
これは、キーを挿さずに車を動かした時にハンドルロックが作動して事故につながることを防ぐための安全機能です。

リモコンでエンジンを始動した後、何も操作を行なわずに放置した場合は10分後にエンジンが自動的に停止します。

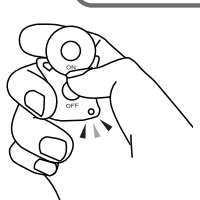
リモコンでのエンジン停止

リモコンでエンジンを始動したが、暖気のみで停止させたいときなどはこの方法を使うと車両に乗り込むことなく、エンジンを停止できます。

重要

リモコンでエンジン始動後、キー操作を行うまではリモコンでのエンジン停止が可能です。

キー操作を行なった後、走行するなどした後にエンジンを停止するには、i-Smart操作ユニットまたはキーでエンジンを停止(P17)してください。



① リモコンのOFFボタンを押して、エンジンが停止したことを確認してください。

トラブルシューティング

i-Smartを使用中に何らかのトラブルが生じた場合には、i-Smartの故障と思う前に以下のトラブルシューティングに従って対策を行なってみてください。トラブルシューティングに従っても問題が解決されない場合や、以下に示されている内容以外の特異なトラブルが発生した場合には、すぐに使用を中止して販売店にご相談ください。

キーを回してもエンジンが始動しない。

通常の取付け方法では、キーでのエンジン始動はできません。
i-Smartのボタンを操作してエンジンを始動させてください。
どうしてもキーのみでの始動が必要な場合は、当社ＷＥＢを参照してください。

ＯＦＦ→ＡＣＣ→ＩＧＮ→ＯＦＦ→・・・を繰返すばかりで、エンジンが始動しない

ブレーキ(クラッチ)を踏みながら、メインボタンを押してください。純正でブレーキ(クラッチ)を踏まなくてもエンジンが始動する車でも、ブレーキ(クラッチ)を踏みながらでないとエンジンは始動しません。

キーをＡＣＣの位置まで回してください。ハンドルロック状態での走行を防ぐため、キーＯＦＦではエンジンの始動ができません。

ブレーキ/クラッチの信号線(１０ピンコネクタの赤線)の接続が不十分または誤りがあると、エンジンは始動できません。
特に、ブレーキ/クラッチのキャンセル機能をＯＮにすると始動できるときは、これが原因となっている可能性が高いです。

車種別ハーネスは当社製のi-Smart専用品をご使用ください。
他社リモコンエンジンスタータや他社ターボタイマ用ハーネス、およびその加工品は使用できません。

トラブルは解決していないがエンジンを始動する必要があるときは、i-SmartでＩＧＮ状態にして、キーをＳＴＡＲＴまで回してエンジンを始動させてください。i-Smartの各機能が作動しませんが、走行することができます。

エンジン始動後もセルモータが回り続ける。

Ｌ端子信号線が、エンジン始動後にバッテリー電圧を発生していることを確認してください。

バッテリーやオルターネータ(発電機)が弱っているなどで十分な電圧が得られないと、セルモータが長く回ることがあります。
確認の上、必要であれば交換してください。

アイドルストップしてもエンジンが勝手に再始動してしまい、ストップ状態を維持できない。

バッテリーが弱っているなどで、エンジン停止時のバッテリー電圧が低いと、安全のためにi-Smartがエンジンを始動させます。
バッテリー容量を点検してください。

オーディオなどの電気機器を強化しているなどで電力の消費量が大きいと、バッテリーの電圧が下がりやすくなります。
バッテリーのサイズを大きくするなどの対策をしてください。

アイドルストップ機能をＯＮにしたのに、アイドルストップしない。

車速の断線を検出するとアイドルストップボタンが点滅しますが、アイドルストップボタンを押すかエンジンを停止すると消灯し、以降は点滅しません。
アイドルストップボタンが明るく点灯しているのに機能が作動しないときは、車速信号線とブレーキ信号線の配線にミスまたは断線がないかを確認してください。

アイドルストップ機能をＯＮにした後、一度走行しないと(車速信号を入力しないと)アイドルストップしません。
同様に、エンジン始動直後から機能がＯＮになっていても、走行しない限りアイドリングストップしません。

オフタイマのオートモードで、いつもすぐにエンジンが停止してしまう。または、なかなかエンジンが停止しない。

オートモードを使用するときは、事前に水温の学習をさせてください。また、Ｐ２２に従って、適切な水温の時に学習を行なってください。

エンジン水温は季節や天候などにも影響されます。
最近になってアフターアイドルをしなくなった(または長くなった)という場合には、再度、学習を行なってみてください。

ボタン操作をしても、i-Smartが反応しない。

反応するときと反応しないときがあるなど、動作が不安定なときはアース線の接続を確認してください。
ボディアースやギボシ・コネクタの接続が不十分で電源不良を生じている可能性があります。

i-Smartの電源がＯＮにならない(ＬＥＤが全く点灯しない)場合には、車種別ハーネスまたはアース線が外れてしまっている可能性があります。確認してください。

お買上げいただいたi-Smartの車種別ハーネスの品番が、適合表の品番と一致するかを確認してください。

車種別ハーネスは当社製のi-Smart専用品をご使用ください。
他社リモコンエンジンスタータや他社ターボタイマ用ハーネス、およびその加工品は使用できません。

トラブルは解決していないがエンジンを始動する必要があるときは、i-Smartの車種別ハーネスを取外し、キーシリンダのコネクタを純正の状態に戻してください。
キーでのエンジン始動ができ、走行することができます。

セキュリティコードを忘れてしまい、操作ができない。

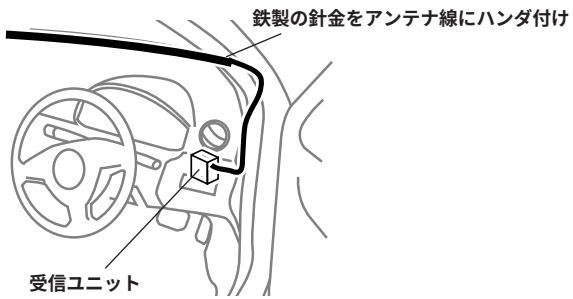
設定したコードを入力する以外に、セキュリティを解除する方法はありません。
忘れてしまった場合には、ひとまず車種別ハーネスを取外して純正の配線に戻し、キーでエンジンを始動させてください。
また、弊社では製品を初期化することで、セキュリティコードを取消すことができます。

リモコンの受信感度を上げるには

重要

アンテナを車体などの金属部に接触させると、受信感度が大幅に下がります。
アンテナ線は金属部品をできるだけ遠ざけて配線し、アンテナに針金などを利用する場合にはゴムチューブで覆うなどして絶縁してください。

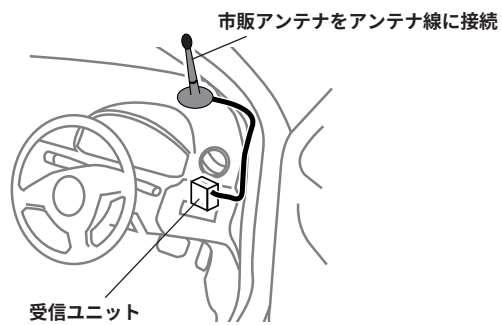
①アンテナはダッシュボードの上など、外からの見通しの良い場所に設置してください。



・４５cm ほどの針金などを接続してダッシュボードに設置しても受信感度が上がります。

※ 針金は折り曲げずに設置した方が感度が上がります。

②市販のアンテナなどに接続すると、さらに受信感度が上がります。



・アンテナは３１５MHｚ用の物をご使用ください。